自己評価表（令和4年度について）

令和5年度入学予定者については、ここ数年来の好調を維持している。人気のある一部の学科コースにおいては、例年通り早い 時期に定員が埋まってしまい、願書の受付を締め切る学科もあった。アパレル業界で進展するDX(デジタルトランスフォーメーション)に対応した教育環境を整備充実するために今年度も最新の教材機材を導入し、業界で活躍した教職員の新規採用を行った。

産学連携においてはアパレル企業が派遣したスタッフが実践的な授業を担当し、業界最先端の知識や技術を学ぶとともにビジネスマナーの習得やプレゼンテーション力の向上に 成果を上げている。新型コロナ感染症も落ち着いて企業の採用も活発化、就職内定率も向上している。また、卒業時点で未内定の者については卒業後も継続して就職指導・支援を行う研究生制度も定着し、夏休み前にはほとんど就職が決まる等、着実な成果 を上げている。

1.教育理念

年次定例会を（職員会議）を3月と8月に開催。教職員全員で教育理念と目標の再確認を行っている。また、毎朝の朝礼時でも現状報告を行い、教育理念の確認を行っている。

評価
A

2.学校運営

実務経験が充分な教職員の確保をした。ファッション授業教員1名、就職室および企業担当1名、造形授業アシスタント2名、スタイリスト授業アシスタント1名を採用。

評価
A

3.教育活動

各学科別シラバス履行

新型コロナ感染症流行時の授業形態として実施してきたオンライン授業だが、講義形式の授業については録画授業を再聴講 して復習に利用する学生もおり、一定の教育成果を上げている。以前からの実技等の対面授業を中心として、オンライン授業を効果的に取り入れている。

評価
A

講演講習

アパレルファッション業界説明会や合同企業説明会等々、多くの講演、講習会を開催した。

評価
A

校外見学

新型コロナ感染症流行が落ち着き、産学連携企業への見学やファッション関連の美術展見学等を行った。

評価
A

4.学修成果

就業達成率

評価
A

新型コロナ感染症流行が収束しつつあり、ファッション業界も採用活動を再開する企業が多かった。就職率は着実に向上し成果を上げている。就職室による面接指導等も徹底し、前年に引き続いて以下の施策を実施した。

1.担任による個別進路面談を実施。一人一人の就活状況の把握を行った。

2.選考の第一段階である、エントリーシートによる選考を通過できない学生が増えている。このため、選考提出書類については、きめ細かい指導と添削アドバイスを実施している。
3.面接選考前には担任または就職室による模擬面接を実施している。 最近はオンライン面接が当たり前になってきたので、これについてのアドバイス・指導も実施している。
4.学校への求人は即時に学生に告知し、教職員にも情報共有する。また、卒業時点で未内定者については学内雇用や、研究生として在籍させ卒業後も就職指導 を継続している。

離脱率

評価
A

学科コースによりばらつきが見られるが、主な退学理由は出席不良によるものが多い。毎日の授業出席状況を講師が報告し、欠席が続く学生および家庭には担任が連絡指導。学業継続のための支援を根気よく行って いる。

履修達成状況

評価
A

欠席日数の多い場合や補習の確定した授業などについて、学生本人だけでなく、保護者に対して も連絡を取るなど、早めの対応を行っている。ファッション業界内での進路変更に対応するため、転科制度を設けて規定の成績を収めた学生には学内での転科を可能にし、履修達成に向けて支援して いる。

授業成果

評価
A

産学連携授業において、学生の商品企画デザインが採用となり、販売されている。また、企業からの研修、インターンシップ依頼が年々増えており、本学学生に対する企業からの信頼度も増している。

5.学生支援

就職支援

評価
A

就職室が学内に設置され、過去の卒業生の行った就職活動のレポートの閲覧や求人票による求人情報を掲示。インターネット上の就職支援サイトの登録や閲覧、エントリーの支援を行う。 卒業生を送り出した企業との関係強化を図り、学内での説明会の誘致も行っている。 学生の個別相談にも即時対応できる支援体制を構築。就職室は常時開放しており、学生が自主的に求人情報を収集したり、就職指導担当教員と面談ができるようにしている。
1年次後半からの就職支援授業や、担任による個別指導など、きめの細かい就職支援体制を整備している。また、卒業生がオープンカレッジや就職指導授業のために来校する際や、産学連携等の外部企業とのつながりを広く活用して学生に業界・就職情報を伝えている。

キャリアアップ支援

卒業生への永久バックアップ支援制度（研究生として登録）により、転職再就職活動を支援。卒業生に対して就職提出 用作品の制作環境提供と各種の就職活動支援を行った。	評価 B

6.教育環境

DX(デジタルトランスフォーメーション)へのさらなる対応と機材機器の整備

DXの進展による生活様式や消費行動の変化に伴い、新入生全員にiPadを貸与している。館内のネット ワーク環境を整備更新し、学生用Free Wi-Fiを設置している。	評価 A

校外校内美化修繕

校舎屋上等の補修修繕を実施。本館3階や別館教室も修繕と内装工事を実施。今後も順次、修繕工事を予定。校内照明のLED化も進めている。校内清掃は清掃員3名が毎日実施。夏休みや春休み等の長期休暇期間には、普段はできない箇所をまとめて美化・修繕につとめている。学生自身も週番(週ごとに当番を決めて毎日教室清掃・整備)により、教室および校内美化の意識を高めている。	評価 A

7.学生の受け入れ・募集

AO入試

本校が求める学生像「アドミッション・ポリシー」に基づいて合否を決める入試方法だが、志望学科の教員が面接官となり、 志望理由や人物を確認するため時間をかけて面接選考をしている。ファッション業界で活躍することを志望する者の要望に応えるため、特典として入学前に実践的な特別講座を実施している。 エントリー期間:6/1～8/31、出願期間:9/1～9/30	評価 A

推薦入学（公募制推薦）

在籍中の高等学校または高等学校以上の教育機関を卒業見込みで、総合成績の評定平均が5段階評価で3.5 以上の者が対象。志望動機、推薦書、調査書等を総合的に判断して、適切な書類選考を行なって いる。特典として、後期納入額から10万円を免除している。（但し、前期の各教科の総合評価が10段階で6以上の者） 出願期間:10/1～10/31　また、近年は高校からの要望が強くなり、令和5年度より指定校推薦制度の導入を予定している。	評価 A

一般入学

高等学校卒業見込みの者、高校既卒者、留学生など幅広く受け入れを行なっている。(留学生は 別途受け入れ条件あり)近年は社会人や大学卒業後に入学を志望する者も増えている。主に志望動機を重視して、適切に書類選考を行なっている。近年の傾向と して、AOでの入学者増加に伴い一般入学については学科により募集締め切りの時期が前倒しになりつつあ る。出願期間:11/1～3/31	評価 A

8.財務

資産合計

667,624,163

評価
B

負債合計

205,569,475

評価
B

売上高

703,300,339

評価
B

経営コスト

402,705,409

評価
B

9.法令等の遵守

職員就業環境

学内の就業規則に沿って、適切な就業を行なっている。昇進制度や賃金制度については、給与規定により定められている。年に数回の研究研修機会と勉強会を実施。教員の指導力向上を図る。また、企業から講師を招いての講演や、職員それぞれの知見と技能向上のため、各種職能団体の講習会、研修機会を義務づけてサポートしている。

評価
B

10.社会貢献・地域貢献

地域文化活動

近隣の小石川中等教育学校の職業体験の受け入れ(中学2年生)を毎年実施している。貴重な体験ができたと毎年高評価をいただいている。

評価
A

災害支援

在学生のご家族(学費負担者)が原則「災害救助法適用地域」に在住し被災された方に対して、被害状況に応じて経済的支援を行なっている。(学費免除または減免措置)

評価
A

11.国際交流（必要に応じて）

海外研修

評価
C

世界的な新型コロナ感染症の流行により、海外での教育活動は困難な状況であったが、収束しつつあり、令和5年度からは海外研修の再開を予定している。

留学生

評価
B

留学生については、受け入れ可能な条件を設定している。
1.出身国で、日本の高等学校以上にあたる教育課程を修了している者。

2.日本語能力検定試験2級(N2)以上の合格者。または日本留学試験日本語科目200点以上、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上を取得した者、または同等の日本語能力があると認めた者。

出願後に本校独自の日本語試験と面談も実施しており、勉学意欲、経費支弁能力等総合的に判 断し、適切な受け入れを行なっている。